

明治 150 年、女性差別は続く

—男性優位の社会通念を変えるには—

3月7日(土) 13:30~16:30



開場 13:00 講演 2 時間 途中休憩あり

会場：ひらつか市民活動センター

(平塚市見附町 1-8 に移転しました)

講師：江刺 昭子氏



「#MeToo」と声を挙げて、女性差別が続く日本社会。政治、経済、司法…どの分野も男が占拠している。それは、男は優れ、女は劣るという男尊女卑観に基づく制度が、明治以来、存在してきたことによる。制度化の過程での男女のせめぎあいにも注目しながら、男女不平等の歴史をひもとく。

参加費：500 円 (資料代含む)

定員：50 人 (先着順)

江刺昭子氏プロフィール

広島県出身。大学卒業後、女性誌の編集を経て、ノンフィクション作家、ジャーナリストとして独立。広島で被爆した作家大田洋子の評伝『草履(くさずえ)』で、1972年第12回田村俊子賞受賞。『女のくせに一草分けの女性新聞記者(ジャーナリスト)たち』『透谷の妻—石阪美那子の生涯』『樺美智子聖少女伝説』など著書多数。神奈川県的女性史編さんや、県内女性史研究グループの指導育成に尽力し、2010年第59回神奈川文化賞受賞。女性史研究の現場から、「47NEWS」(HP)への寄稿など時事評論を発信している。

0 階
4 段
6 階
3 (31)
7 5
7 8
1 分



共催：女性史に学ぶ会 平塚市人権・男女共同参画課

〈平塚市男女共同参画啓発事業〉 問い合わせ：0463-71-6471 または 090-6655-7862 星賀